

各研究科の目的

【人文社会学研究科】

○研究科の目的

人文社会科学研究科は、人文社会科学の諸分野における高度の専門知識に基づき、狭い専門領域にとらわれず、学際的、総合的な教育研究を行うことにより、複雑化、多様化する現代社会に柔軟に対応でき、創造的な知性と国際的な視野をもった研究者及び専門的職業人を育成することを目指す。

○各専攻の目的

地域文化論専攻

地域文化論専攻は、各地域に固有の文化を高度な専門性とともな学際性・総合性も視野に入れ、人文諸科学の様々な研究視点から探究することを教育研究の目的とし、地域文化の理解と発展等に指導的役割を發揮しうる人材を育成することを目指す。

社会科学専攻

社会科学専攻は、社会の諸問題を社会科学の観点から高度な専門性と幅広い視野を持って考究することにより、地域社会に貢献することを教育研究の目的とし、地域における政策形成、企業活動等に指導的役割を發揮しうる人材を育成することを目指す。

【教育学研究科】

○研究科の目的

教育学研究科は、複雑多様化する現代の教育課題の解決を目指して、教育現場との連携又は理論と実践の往還を通して、専門分野並びに教育実践における優れた能力を養うことを目的とする。

○各専攻の目的

教育科学専攻

教育科学専攻は、人間の発達及び教育に関する高度な専門的研究を進めるとともに、教育現場における諸課題の解決にリーダーシップを發揮できる人間性豊かな教員の養成のための高度な教育・研究を行うことを目的とする。

教職実践高度化専攻

教職実践高度化専攻は、地域や学校において指導的役割を果たすために必要とされる確かな指導理論及び優れた実践力・応用力を備えた高度専門職業人としての教員を養成することを目的とする。

【医学系研究科】

○研究科の目的

医学系研究科は、豊かな独創性と使命感を持って医学・看護学を発展させ、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成すること、さらに、優れた研究成果を世界に発信することによって、人類の健康と福祉に貢献することを目的とする。

○修士課程の目的

医科学専攻

修士課程医科学専攻は、生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成することを目的とする。

○博士前期課程の目的

看護学専攻

博士前期課程看護学専攻は、看護学の理論と応用を教育・研究することによって、社会のニーズに沿った保健・医療・福祉の向上に寄与するとともに、看護の発展に貢献する高度な専門性を備えた人材を育成することを目的とする。

○博士課程の目的

生命医科学専攻

博士課程生命医科学専攻は、生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成し、かつ、優れた研究成果を世界に発信することを目的とする。

○博士後期課程の目的

看護学専攻

博士後期課程看護学専攻は、看護学の専門分野から事象の詳細を掘り下げて追究し、他の看護学分野や他の学問領域等と協働しながら、看護学の専門分野における新たな知見を導き出し、独自性豊かで地域に役立つ看護学研究成果を生み出す「俯瞰的視野」を持った人材を育成し、かつ、優れた看護学研究成果を世界に発信することを目的とする。

【工学研究科】

○研究科の目的

工学研究科は、基礎的研究とともに、学際的又は新しい分野の開拓を目指した高度な工学研究を行い、その成果を広く開放して、地域や社会の発展と福祉に貢献すること、また、深い専門知識を蓄え、高く設定された目標を達成する能力を養い、地域的・国際的な課題に工学の立場から貢献できる創造力豊かな研究者及び専門的な技術者を養成することを目的とする。

○博士前期課程の目的

博士前期課程は、学際的・独創的・総合的視野を基盤にした専門的な工学の研究を通して、高度な専門技術者及び研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

機械工学専攻

機械工学専攻は、社会の要請に即した機械システム、材料加工、環境・エネルギー分野における高度な学術研究を行うとともに、研究を通して創造性が豊かで社会性の高い技術者を育成し、人間・環境・機械の調和的発展に貢献することを目的とする。

電気電子工学専攻

電気電子工学専攻は、電気電子工学の基礎と応用に関する教育研究を通して、多面的理解力・倫理的判断力・知的創造力を備えた高度専門技術者及び研究者を育成し、自然の中での、人類の共生、福祉の増進及び地域・社会の発展に貢献することを目的とする。

分子素材工学専攻

分子素材工学専攻は、国際的基準での高度先進的な化学教育・研究を通して、問題把握力を有し、人と自然のかかわりについての倫理的判断を備え、多種多様な物質の分子又はナノレベルの「創成」及び「分解」に特化した分野における高度技術者及び研究者を養成するとともに、地域及び世界に向けて社会貢献に資することを目的とする。

建築学専攻

建築学専攻は、地域から地球規模に至る環境及び社会のニーズを踏まえた総合的見地から、建築・都市の専門分野における高度な学術研究を行うとともに、創造力豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を行い、学問・文化の発展と地域・社会に貢献することを目的とする。

情報工学専攻

情報工学専攻は、多様な変革に対応できる学際的研究と新しい分野の開拓を目指した高度な研究を行い、また、深い専門知識と能力を備え、国際的な課題の解決に貢献する研究者及び専門的な技術者を養成し、地域や社会に貢献することを目的とする。

物理工学専攻

物理工学専攻は、工学の基礎としての物理学と機械工学・電気電子工学を融合させた教育研究を行うことにより、高度の専門性を持ちながら幅広く活躍することができる高度専門技術者及び研究者を育成し、既存の壁を打ち破る革新的な科学技術の創造と発展に貢献することを目的とする。

○博士後期課程の目的

博士後期課程は、学際的・独創的・総合的視野を基盤にした高度かつ専門的な工学の研究を通して、社会において指導的役割を果たせる研究者及び極めて高度な技術者を養成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

材料科学専攻

材料科学専攻は、現在の最先端科学技術の一層の飛躍と環境保全などの見地から、先進物質・先進材料、ナノサイエンス・ナノテクノロジー、ライフサイエンスなど学際的な研究を通して、新材料の創造・加工・評価・応用に関する基礎学力と幅広い应用能力を兼ね備え、かつ、創造性豊かで先端技術に対応できる先導的能力を持った研究者及び極めて高度な技術者を育成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

システム工学専攻

システム工学専攻は、地球環境・エネルギー、社会基盤構築、情報処理・通信、ロボティクス・メカトロニクスなどの研究領域に関連するシステム工学技術の探求を通して、システム工学技術に対する学際的で豊かな学識と独創的な能力を兼ね備え、かつ、先導的役割を果たせる研究者及び極めて高度な技術者を育成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

【生物資源学研究科】

○研究科の目的

生物資源学研究科は、衣・食・住にかかわる生物資源の生産・利用及び環境の保全と修復を中心課題として自然の調和に配慮した教育・研究を展開することにより、深い専門知識と目標達成能力及び学際的・創造的視野を持つ先端的高度技術者及び研究者を養成し、生物資源学の確立と発展を目指しつつ、その学術的・技術的成果を積極的に社会に還元することを目的とする。

○博士前期課程の目的

博士前期課程は、食料生産、自然環境の保全と修復、人類の自然との共生、バイオマスエネルギー、資源生物の生命機能の活用など生物資源学にかかわる諸分野について高度な理論と技術を教育し、豊かな学識と幅広い視野を有する専門技術者の育成を図るとともに、研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成することを目的とする。

資源循環学専攻

資源循環学専攻は、自然科学的・社会的な情報や知見を総合化し、総合判断、予見的洞察、政策立案、マネジメントに資する専門的技術者を養成し、人類の生命・文化生活を持続的に維持していくための効率的で安全・安心の循環システムや地域的な自然と人間の共生システムの構築に寄与することを目的とする。

共生環境学専攻

共生環境学専攻は、地球規模から地域レベルまでの環境問題に対処できる高度な専門的技術者を養成し、人間活動と自然環境との適正な共存を目的とした生物資源生産の場の整備や同資源の持続的利用、自然環境保全に係る高度な学理技術の発展に寄与することを目的とする。

生物圏生命科学専攻

生物圏生命科学専攻は、資源生物の育成・管理、生物的諸機能及び機能性生体成分の利用、生物の環境応答等の課題を究明するために、生命科学にかかわる課題を幅広い視野から洞察でき、かつ、問題解決に必要な実践的能力を有する専門的技術者を養成し、生命科学に関する基礎的学理の探求と応用技術の発展に寄与することを目的とする。

○博士後期課程の目的

博士後期課程は、生物資源の開発、生物圏と環境の保全や修復、生産機能の応用など生物資源学の理論・技術を究明し、高度な先端の専門能力と豊かな学識と幅広い視野を備えた研究者及び技術者を養成することを目的とする。

資源循環学専攻

資源循環学専攻は、資源循環にかかわる文理融合的な基礎的・関連的情報や知見に通じた高度な専門能力と幅広い学識を備えた専門的研究者及び技術者を養成し、生物資源を活用した効率的で安全・安心の循環システムや地域的な自然と人間の共生システムの構築に寄与することを目的とする。

共生環境学専攻

共生環境学専攻は、新技術・先端学理の創出に貢献することができる創造性豊かで幅広い視野を持つ専門的研究者及び技術者等を養成し、生物資源の生産・利用にかかわる人間活動と自然環境との調和を目指した多様なレベルでの環境の保全や修復のための先端的・実践的理論の確立と技術の発展に寄与することを目的とする。

生物圏生命科学専攻

生物圏生命科学専攻は、資源生物とその諸機能の有効利用や生物環境の保全等のバイオサイエンス分野で活躍できる高度な専門的研究者及び技術者を養成し、資源生物の生理生態学的・分子生物学的諸特性及び遺伝子・生体分子・生物器官等の構造と機能など、資源生物の生命現象に関する先端的理論の構築や最新技法の開発に寄与することを目的とする。

【地域イノベーション学研究科】

○研究科の目的

地域イノベーション学研究科は、地方産業界が求める即戦力型人材であるプロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材の育成に特化した教育・研究を展開することにより、高度な専門知識及び応用能力を持ち、創造性豊かな研究開発活動を進める高度専門職業人及び研究者を養成し、地域社会の将来を担う中核人材を育成するとともに、地方立脚型の企業が抱えている成長障害要因の克服に必要な学際的研究を実施し、その成果を社会に還元することを目的とする。

○博士前期課程の目的

博士前期課程地域イノベーション学専攻は、専門分野における研究開発担当者として、研究課題を取り巻く総合的な状況を考察し、解決策を構築していく製品化のための研究開発プロジェクトのマネジメントができる研究開発系人材を養成することを目的とする。

○博士後期課程の目的

博士後期課程地域イノベーション学専攻は、自立した研究者として、研究開発成果を基にした新規事業プランの立案からその事業化までの企画・執行・調整に関する総合的なマネジメントを行う事業化プロジェクトのマネジメントができる研究開発系人材を養成することを目的とする。